

1. 渡来人 2. 蝦夷（えみし） 3. 琉球民族 4. アイヌ民族

1. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。	2. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。	3. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。	4. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。
--	---	--	--

1. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった
2. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた
3. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された
4. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった

1. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。
2. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。
3. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。
4. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。

1. 土偶 2. 銅鐸 3. 石包丁 4. 埴輪

1. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

2. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた

3. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた

4. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた

1. 大和民族 2. 琉球民族 3. アイヌ民族 4. 渡来人

1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。
2. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。
3. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。
4. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。

1. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。
2. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。
3. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。
4. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。

1. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた
2. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた
3. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いながら移動して生活していた
4. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた

1. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。
2. 大型掘立柱建物跡や多数の堅穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。
3. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。
4. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。

1. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された
2. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
3. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である
4. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である